



IBR剤 (Insect Behavior Regulator) 昆虫行動制御剤

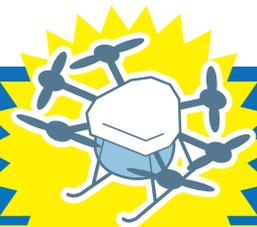
農林水産省登録
第22798号

殺虫剤

クミアイ コルト®

顆粒水和剤

害虫防除の馬カアツプ!



無人航空機散布に対応

適用拡大

- もも (モモヒメヨコバイ)
- ネクタリン (モモヒメヨコバイ)
- 小粒核果類 (モモヒメヨコバイ)
- ばら (バラシロカイガラムシ)



〈写真はイメージです〉

難防除害虫に高い効果!



モモアカアブラムシ



ヤノネカイガラムシ



タバコナジラミ



チャノキイロアザミウマ

かんきつ	トマト、ミニトマト	しょくほうおすき・食用ペンタス
りんご	なす	ばれいしょ
なし	ピーマン	かんしょ
もも、ネクタリン	オクラ	こんにゃく
かき	とうがらし類	やまのいも
ぶどう	ヤングコーン	てんさい
マンゴー	未成熟とうもろこし	キャベツ
おうとう	きゅうり、メロン	カリフラワー、ブロッコリー
小粒核果類	ズッキーニ	はくさい
キウイフルーツ	すいか、かぼちゃ	レタス
花き類・観葉植物	しろりり、にがうり	非結球レタス
たばこ	さやいんげん	ねぎ、たまねぎ
茶	豆類 <small>(未成熟、ただしさやいんげんを除く)</small>	アスパラガス
いちご	豆類 <small>(種実、らっかせいを除く)</small>	にら

適用作物

適用病害虫および使用方法

が2025年12月に適用拡大になりました。

<2025年12月現在の登録内容>

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アブラムシ類 アカマルカイガラムシ カイガラムシ類(アカマルカイガラムシを除く) チャノキイロアザミウマ、コナジラミ類、ミカンバエ成虫	16倍	4ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		20倍	5ℓ/10a				
		40倍	10ℓ/10a				
		2000倍					
		2000~3000倍					
りんご	アブラムシ類 カイガラムシ類 リンゴタムシ	3000~6000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		3000~4000倍					
		3000倍					
なし	アブラムシ類、チュウゴクナシキジラミ カイガラムシ類	4000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		3000~4000倍					
もも、ネクタリン	アブラムシ類、モモヒメヨコバイ カイガラムシ類	3000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		4000倍					
かき	カイガラムシ類、チャノキイロアザミウマ	2000~3000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
ぶどう	カイガラムシ類、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ	3000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
キウイフルーツ	カイガラムシ類	3000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
マンゴー	カイガラムシ類、チャノキイロアザミウマ	2000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
おうとう	オウトウショウジョウバエ	10000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
小粒核果類	カイガラムシ類 アブラムシ類 モモヒメヨコバイ	2000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		4000~8000倍	100~300ℓ/10a				
ばれいしょ	アブラムシ類	400倍	25ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		50倍	3.2ℓ/10a				
		4000倍					
かんしょ	コナジラミ類、アブラムシ類	4000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
やまのいも、にがうり、カリフラワー、こんにゃく	コナジラミ類、アブラムシ類	4000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
てんさい	アブラムシ類	32倍	1.6ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		40倍	2ℓ/10a				
		64倍	3.2ℓ/10a				
		4000~6000倍					
いちご	アブラムシ類、コナジラミ類	4000倍		収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
トマト、ミニトマト、オクラ、甘長とうがらし、きゅうり、メロン、すいか、かぼちゃ、ズッキーニ	アブラムシ類、コナジラミ類	4000倍		収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
なす	アブラムシ類、コナジラミ類、カスミカメシ類	4000倍		収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
ピーマンとうがらし類(甘長とうがらしを除く)	アブラムシ類、コナジラミ類	4000倍		収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
しろすり	コナジラミ類	4000倍		収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
キャベツ	アブラムシ類 ネギアザミウマ	16倍	1.6ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		20倍	2ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				
レタス	アブラムシ類	3000~4000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		24倍	1.6ℓ/10a				
		30倍	2ℓ/10a				
		48倍	3.2ℓ/10a				
非結球レタス	アブラムシ類	24倍	1.6ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		30倍	2ℓ/10a				
		48倍	3.2ℓ/10a				
ブロッコリー	アブラムシ類	3000~4000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		25倍	1.6ℓ/10a				
		32倍	2ℓ/10a				
		50倍	3.2ℓ/10a				
はくさい	アブラムシ類	4000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		24倍	1.6ℓ/10a				
		30倍	2ℓ/10a				
		48倍	3.2ℓ/10a				
アスパラガス	コナジラミ類、ネギアザミウマ、カスミカメシ類	4000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
食用パスタ	アブラムシ類	4000倍		収穫14日前まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
ヤングコーン	アブラムシ類	4000~6000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	1回	無人航空機による散布	1回
豆類(未成熟、ただし、さやいんげんを除く)	アブラムシ類	4000~6000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	1回	無人航空機による散布	1回
さやいんげん	コナジラミ類	4000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
未成熟とうもろこし	アブラムシ類	64倍	1.6~3.2ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
ねぎ	アブラムシ類、ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	16倍	1.6ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		20倍	2ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				
たまねぎ	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	2000倍		収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
にら	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)	ネギアザミウマ	2000倍		収穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
しょうゆほおずき	アブラムシ類	4000~6000倍		収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
茶	クワシロカイガラムシ チャノキイロアザミウマ、チャノキコナジラミ、アブラムシ類 ツマグロアオカスミカメ、マダラカサハラハムシ	2000倍	1000ℓ/10a	摘採7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
		2000倍	200~400ℓ/10a				
チューリップ	アブラムシ類	40~120倍	3ℓ/10a	発生初期	4回以内	無人航空機による散布	4回以内
ばら	アブラムシ類、コナジラミ類	4000倍		発生初期	4回以内	無人航空機による散布	4回以内
バラシロカイガラムシ	バラシロカイガラムシ	2000倍	100~300ℓ/10a	発生初期	4回以内	無人航空機による散布	4回以内
花き類 観葉植物(チューリップ、ばらを除く)	アブラムシ類、コナジラミ類	4000倍		発生初期	4回以内	無人航空機による散布	4回以内
たばこ	アブラムシ類	4000倍		収穫10日前まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内

注意事項 ■果灰硫黄合剤、ボルドー液等のアルカリ性の強い薬剤との混用はさけてください。■植物体への浸透移行による効果は弱いので、かけ残しのないよう葉の表裏に十分散布してください。■ぶどうの幼果期以降に使用する場合は、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意してください。■西洋なしの品種ルレクエデでは落花後から袋かけ前までの散布については葉面に葉質を生じるおそれがあるので使用をさけてください。■おうとうに使用する場合は、葉面に汚れを生じるおそれがあるので注意してください。■ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。①ミツバチやその巣箱及びその周辺にかららないよう注意してください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合は使用しないでください。②受粉促進剤を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危険防止に努めてください。■無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。②散布に当たっては散布機種の適合した散布装置を使用してください。③散布中、薬液の漏れのないよう機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。④散布薬液の飛散によって自動車やカーポートの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。⑤散布終了後は次の項目を守ってください。a)使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。■本剤をばれいしょに対して希釈倍数400倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した果用型速度運動式地上液剤散布装置を使用してください。■適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。■使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受け、また、誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせていただきます。■眼に対して刺激性があるので眼に入らぬよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けさせていただきます。■散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを洗い、うがいをするともに洗眼してください。■かぶれやすい体質の人は取扱いは十分注意してください。■水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。■無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。■散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。 ●防除日誌を記載しましょう。